

自然共生社会を目指して

京王グループでは、生物多様性や森林保全などの取り組みを通じて、沿線の豊かな自然を次世代に引き継いでいきます。

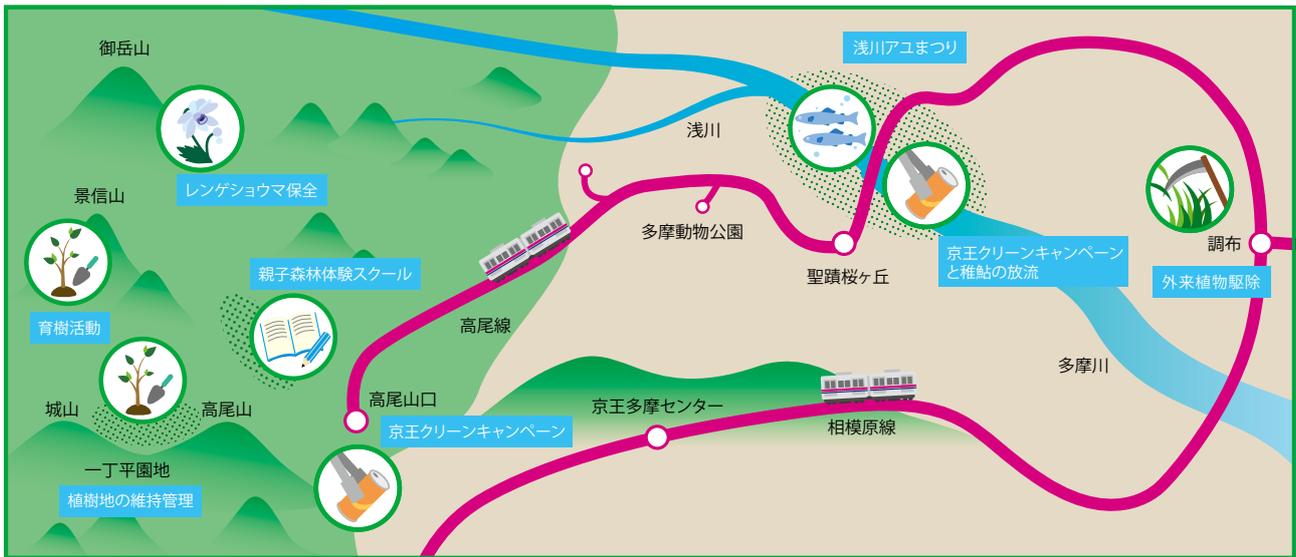
11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



生物多様性の取り組み



▶京王グリーンキャンペーン

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、毎年高尾山や多摩川の清掃活動を行っています。2019年5月には、高尾山で清掃活動を行い、一般のお客様と京王グループ社員合わせて862名が参加しました。



高尾山での清掃活動

▶外来植物駆除

多摩川には様々な外来植物が生育しており、在来植物の生育を抑圧するなどの悪影響を及ぼすとされています。そこで、生物多様性保全協会主催・調布市共催の「多摩川の外来植物駆除」に参加し、河川敷で駆除活動を行っています。



多摩川での駆除活動

▶浅川アユまつり

2017年から、日野市が主催する漁場としての川の保全・啓発活動「浅川アユまつり」に参加しています。



浅川アユまつりの様子

▶ツバメのフン受け板の設置

2014年から、ツバメが巣作りをする春から初夏にかけて、駅の設置可能な箇所に取り付けています。ツバメのフンでお客様にご迷惑をおかけしないこと、またツバメの生息環境にも配慮した生物多様性施策の一環です。



ツバメのフン受け板

▶ 森林再生への取り組み

2002年から日本山岳会「高尾の森づくりの会」が裏高尾(小下沢国有林)で行う森林再生活動を支援しており、累計約17,000本の苗木提供を行ったほか、下草刈りなどの育樹活動を行っています。

▶ 高尾の森 親子森林体験スクール

裏高尾において、日本山岳会「高尾の森づくりの会」と協力して、お子様と保護者の方に、植樹や下草刈りの体験、水生生物の観察などを通じて、森の大切さを学んでいただいています。



自然観察の様子



VOICE

森の大切さを
子どもたちに
伝えています

日本山岳会
「高尾の森づくりの会」代表

吉川 正幸



日本山岳会 高尾の森づくりの会は、景信山に近い北高尾の森で、20年間森づくりを行ってきました。毎月、小下沢にある小屋を拠点として、動植物の調査や間伐材を利用した物づくりなど多様な活動を続けています。

京王電鉄と協力して毎年春に14組ほどの親子を迎えて親子森林体験スクールを開催しています。広葉樹を植えるなど、森林での活動を通じて、山と緑の森は、私たち人間にも欠かせないものであることを子供たちに伝えています。

▶ 屋上庭園「ふくにわ」

「京王リトナード永福町」の屋上庭園「ふくにわ」は、地域の公園機能を代替し、コミュニティ庭園として利用されていることなどが評価され、都市緑化機構主催のSEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)認定緑地に選ばれています。



屋上庭園「ふくにわ」

▶ 線路脇の緑化

1991年から、線路脇の雑草には除草剤を使わず、人の手による草刈りを行っています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくため、線路脇へアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を行っています。



線路脇の緑化

▶ レンゲショウマ保全

御岳登山鉄道は、御岳山に群生し絶滅危惧種に指定されている山野草「レンゲショウマ」の保全活動として、みたけ山観光協会などと協力し、群生地での下草刈りやハイキングコースの整備を行っています。



下草刈り作業



レンゲショウマ